

第2回令和6年度九州地域飼料増産研修会 ～コントラクター情報交換会～概要

日 時：令和7年3月7日（金）13:00～16:00

場 所：合同庁舎A棟1階旧食堂及びTeamsによるオンライン研修

概 要：

九州地域におけるコントラクターを中心とした飼料作物生産を推進するため、九州農政局は、日本草地畜産種子協会との共催により、「コントラクター情報交換会」と題し、コントラクター向け研修会を合同庁舎で開催しました。



勉強会の様子

最初に、農研機構東北農業研究センターの森田先生から、水田を活用した青刈トウモロコシの生産のための排水対策等についてご講演いただきました【資料1】。

続いて、日本草地畜産種子協会の新出昭吾飼料稲アドバイザーから、コントラクター利用に適した稲WCS専用品種である極短穂茎葉型品種の特徴等についてご講演いただきました【資料2】。

さらに、農林水産省畜産局飼料課の野中課長補佐から、国産飼料をめぐる情勢と予算の概要について最新の情勢をご説明いただきました【資料3】。

休憩をはさんだ後は、民間の種苗会社5社の担当者様から、それぞれ新品種等の情報提供をしていただきました【資料4】。その後、日本草地畜産種子協会の元村専務理事から、同協会の飼料増産の取組等についてご説明いただきました【資料5】。

最後に、農政局から令和6年度補正事業の説明及びアンケート調査等に基づいた九州のコントラクターの状況等をご紹介します【資料6】。

今回は、コントラクター組織や県・市町村関係者にご参加いただき、オンラインを含めると約80名となりました。本研修会が、九州地域におけるコントラクター推進の一助となれば幸いです。